フォーマットを変更しない。ＭＳ明朝10.5ポイントで記載。

数字はは半角。見出しは2字換算。

――――（以下に記入）――――

Ｑ事業総点検の終了時期は

Ａ令和6年秋頃で一区切り

Q 事業総点検で市長が重視していることは何か。

A **市長**　既存事業が今の社会情勢や市民ニーズに合っているか検証することである。財源確保だけでなく、業務的な余白を生み出して、職員が新規事業に取り組む時間を確保したい。

Q 事業総点検はどのような手順で行うのか。

A **市長公室長**　予算科目にある全ての中事業から法定受託事務や職員人件費、臨時的経費等を除いた338事業を対象に、各課において「事業総点検シート」及び一部の事業については「近隣比較シート」を作成する。その後、多角的な視点で議論し、市の特徴や強みを生かした経営判断を行った上で、総合計画の基本目標ごとに削減額及び削減対象事業を決定する。事業担当課で改善を進められるものについては、事業担当課へ改善の指示を出し、課を横断して改善が求められるものについては、プロジェクトチームを作って検討する。

Q 改善はどの程度の期間を見込んでいるのか。

A 改善が必要な事業については、早ければ令和7年度から改善していく。

Q 総点検の結果について、市民に対し説明を行うのか。

A 市民に対しては、結果だけでなく、中間報告や過程も伝える必要があると考えている。

Ｑ生活保護受給者の自立支援とは

Ａ医療支援や就労支援である

Q 就労支援は具体的にどのようなプロセスで行っているのか。

A **福祉部長**　生活保護申請に至った原因から、どのような支援が必要かを判断する。傷病が原因であれば適切な医療を受けていただく。回復後、一般就労が可能であればハローワークの巡回相談を活用し、就労支援を行う。障がい等により一般就労が困難である場合には、福祉的就労を検討する。

―――――――――――――――

【写真キャプション】「廃止される市公用バス」